

電波時計 取扱説明書 (デジタル電子音目覚まし時計)

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製造
発売元 **リズム株式会社**

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12
https://www.rhythm.co.jp

(Y2305)

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、当社お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

●修理部品の保有について

電子回路や歯車などの修理用性能部品は製造打ち切り後、3年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。

Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先 **お客様相談室 0120-557-005**

(フリーダイヤル)
受付時間 9:00~17:00(土日、祝日および当社休日を除く)

お問い合わせに際しては、時計裏面に表示してあります製品番号(型番)をお伝えください。例 8RZ000

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明 ○は、禁止(してはいけないこと)を示しています。
ⓘは、指示する行為を必ず守ることを示しています。

⚠ 警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

❗ 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

🚫 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、電池について次のことを守る

- 傷をつけない。
- ショートさせない。
- 加熱しない。
- 分解しない。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。

🚫 梱包用のポリ袋をかぶらない
窒息するおそれがあります。

⚠ 注意 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

❗ 電池の⊕/⊖を正しく入れる
液漏れや発熱の原因となり、けがや故障の原因になります。

🚫 強い振動や衝撃を与えない
故障や破損の原因になります。

🚫 浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない
さびや故障の原因になります。

🚫 ぬれた手でさわらない
さびや故障の原因になります。

🚫 液晶から漏れた液に素手でさわらない
破損で漏れた液には絶対にふれないでください。万一、手などに付着した場合は、すぐに石けんで洗い流してください。

🚫 電池の液漏れが起きたときは、素手でさわらない

- 目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
- 電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

🚫 分解や改造をしない
けがや故障の原因になります。

🚫 下記のような場所では使わない
性能の低下や部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。

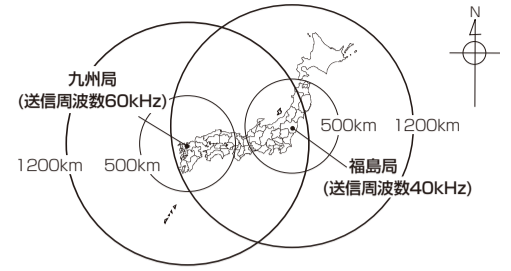
- 直射日光が当たる所。
- 暖房機器からの風が当たる所。
- 温度が-10℃以下または+50℃以上の所。
- 火気のそば。 ● ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気を発生させる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

電波時計について

電波時計とは

クオーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。

※標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jij.nict.go.jp)



海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。海外でのご使用はお勧めできません。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起さる所
- 高圧線、テレビ塔、電車の架線近く
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 地下、ビルの中、ビルの谷間
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く

電池のご注意 (電池の正しい使いかた)

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス(+)、マイナス(-)を間違えない。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 幼児の手の届かない所に置く。
- 種類の異なる電池を混ぜない。

電池の種類について

- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。
- 一部の電池は、形状的に本製品には不向きな場合があります。

(例: Panasonic EVOLTA(エボルタ)乾電池) ※「EVOLTA」は、パナソニック株式会社の登録商標です。

電池の寿命について

- 温度などの使用条件により、電池寿命が製品仕様より短くなる場合があります。
- 買い置きした電池を使用した場合、保管状態や乾電池に示されている「使用推奨期限」により、電池寿命が短くなる場合があります。

電池の交換について

⚠ 注意 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

電池からの液漏れにより、時計の修理や壁面の修繕などに費用が発生することがあります。電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために次のことをお守りください。

- 液晶表示が薄くなったり、表示の一部が欠けたときは、速やかに電池を交換するか、電池を取り出す。
- 動いていても1年に1回定期的に交換する。
- 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜない。
- 時計を使わなくなったときは電池を取り出す。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

時計、電池の廃棄

- お住まいの自治体の指定に従ってください。
- 製品を廃棄するときは、電池と本体を分別して、使用済みの電池はセロハンテープなどで絶縁してください。

おもな製品仕様

| | | | |
|---------|--|------------|----------------------|
| 使用温度範囲 | -10~50℃ *結露しないこと (液晶表示可読温度 0~40℃) | 標準電波 | 標準電波を受信して日付・時刻を修正 |
| 時間精度 | 標準電波受信成功直後 ±1秒 標準電波を受信しない場合 平均月差±30秒 | 受信局 | 福島局/九州局 両局対応 |
| 使用電池 | 単3形マンガン乾電池 JIS規格 R6P 2本 | 受信回数 | 4回/日 |
| 電池寿命 | 約1年 (アラーム:30秒/日、照明:5秒/日使用) | 受信ON/OFF | なし |
| アラーム機能 | 設定した時刻にアラームが鳴る | 標準電波受信開始時刻 | 午前2時から5時の各時間帯0分0秒に開始 |
| アラーム精度 | 表示時刻に対して±0秒 | | |
| アラーム音 | 電子音 | | |
| スヌーズ | アラーム音が約5分間の一時停止 | | |
| オートストップ | アラーム音が連続3分で自動停止 | | |
| カレンダー | 2010~2099年対応 | | |
| 照明 | ボタンを押すと約5秒間照明 | | |
| 防滴防塵機能 | なし | | |
| 温度表示 | -9.9~50℃ | | |
| 温度精度 | ±2℃ 測定範囲内 | | |
| 測定間隔 | 約1分 | | |

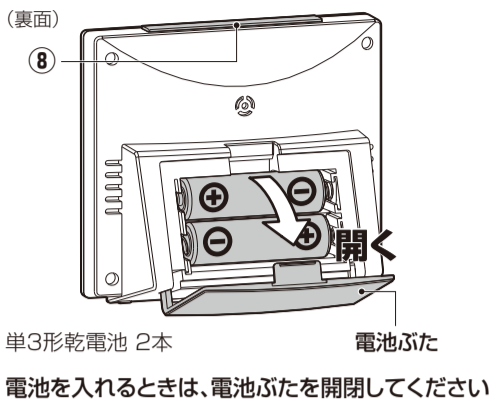
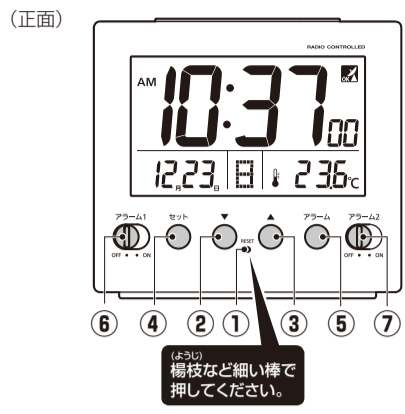
付属品：保証書

※液晶はその特性上、0℃以下になると表示反応が遅くなったり、表示が薄くなる場合があります。40℃以上になると表示が濃くなったり、ムラに見えることがあります。0~40℃になれば、正常に戻ります。
※液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなる場合があります。
※表記の電池寿命は、新たに「おもな製品仕様」の使用電池に交換した場合に適用となります。
※単3形アルカリ乾電池を使用することができます。種類の異なる電池と混ぜて使わないでください。
※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

電池は付属していません。単3形マンガン乾電池を2本ご用意ください。

各部の名称と役割

◎図は操作説明用ですので、実際のものとは異なることがあります。



本体正面より見てください。液晶は見る方向により薄く
なったり、ムラになったりします。

注意 電池の⊕⊖を指示と逆向きに入れると
液漏れ、発熱、破裂の危険があります。

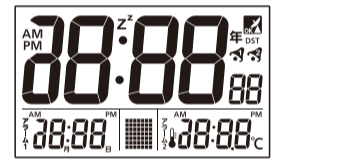
- ①RESET(リセット) ———— 誤作動を防ぐために電池を入れた直後に押す。押すと2010年1月1日午前12:00、アラーム時刻1,2とも午前6:00になります。
- ②▼(戻る) ———— アラーム時刻や手動で日時を合わせるときに使用。
- ③▲(進む) ————
- ④セット(時刻合わせ) ———— 手動で日時を合わせるときに使用。
- ⑤アラーム(アラーム合わせ) ———— アラーム時刻を合わせるときに使用
- ⑥アラーム1 ON/OFFスイッチ ———— アラーム1,2のON/OFF設定。
- ⑦アラーム2 ON/OFFスイッチ ————
- ⑧スヌーズ/ライト ———— アラーム音の一時停止とライトボタン。

1 電波を受信して時刻を合わせる

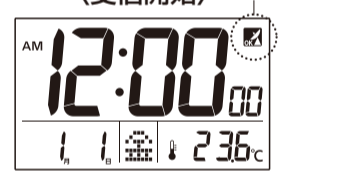
標準電波を利用しないで、手動で日時を合わせるときには **手動での時刻合わせ** をお読みください。

【受信の流れと表示】

〈リセットを押した直後〉



受信マーク (受信中点滅)
〈受信開始〉



※電源投入直後およびリセットを押した直後は、
2010年1月1日、午前12:00、アラーム時刻
1,2とも 午前6:00に設定されます。

〈受信終了〉
最長10分後



(受信に成功したときの表示例)

電波を受信しやすい窓際などに置いてください。

- ①電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を入れる
- ②リセットボタンを押す
「ピピピピ」と鳴って、受信マークが点滅し受信を開始します。
- ③受信開始から10分後に受信結果を確認する
受信には最長10分程度時間がかかります。受信マークで受信結果を確認してください。
▶【受信の流れと表示】参照

◎受信中はボタンやスイッチに触れないでください。
※電波の受信中に▲(進む)、▼(戻る)を同時に約3秒間押し続けると、受信マークが消灯し受信を中止します。

アドバイス テレビ、蛍光灯などの家電製品やパソコンなどのOA機器からのノイズにより、受信できなかったり、誤った日時を表示することがあります。場所を変えてリセットを押して再度受信を試みてください。



(受信に失敗したときの表示例)

強制受信とリセット操作

強制受信
場所を移動したときなどに、受信を試みたいときに使います。受信に失敗しても日時は継続して表示します。

操作 ▲(進む)と▼(戻る)の2つのボタンを同時に約3秒間押し続けると☑が点滅して受信を開始します。アラーム時刻または日時の設定状態のときは強制受信を行いません。

リセット
電池を入れた直後や静電気などにより誤作動したときに押します。
リセット直後は、2010年1月1日午前12:00、アラーム時刻は1,2とも午前6:00に設定されます。また、電波の受信を開始します。

標準電波を受信できない場合

- 朝までそのままにしておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくことで受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える／受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が電波の送信所に、なるべく向くようにして、**リセット**を押して再度受信を行ってください。
- 時刻を合わせて使用する
ベランダなどの屋外で電波の受信に成功させるか、手動で日時を合わせて使用してください。

手動での時刻合わせ ……電波が受信できないとき、任意の日時に合わせるとき

操作例に従って、年(西暦)、月、日、時刻(時/分)の順に設定してください。

操作例. 2029年12月23日 午前10:37に合わせる

①年
①年(西暦)が点滅するまでセット(時刻合わせ)ボタンを約2秒間押し続ける。
点滅している数値を▲(進む)または▼(戻る)で合わせてからセット(時刻合わせ)を押すと数値を確定して次に進みます
ボタン 押しすぐ離す 押し続ける
▲(進む) 1つ進む 早送り
▼(戻る) 1つ戻る 早戻し

②年(西暦)を合わせる

③月を合わせる ④日を合わせる

⑤時を合わせる ⑥分を合わせる
※分のときに進むまたは戻るを押すと秒が00になります。

③月 ④日
以上で設定は終わりです。

- 手動で時刻合わせをしても自動受信を行い、受信に成功すると日時を修正します。
- 約15秒間ボタン操作を中断すると、表示されている内容で設定を終わります。
- アラーム時刻が点滅しているときは、日時の設定はできません。
- 標準電波を受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。
- 電波の受信中にセット(時刻合わせ)を約2秒間押し続けると、受信を中止して時刻合わせ状態になります。

2 アラーム機能の使い方

■アラーム1と2、2つのアラーム時刻を設定して使用することができます。
アラーム1と2の設定手順は同じです。(下記の設定説明はアラーム1の例です)

○アラームが鳴っているとき、またはスヌーズ中にスヌーズ以外のボタンを押すとアラームが停止され、スヌーズ状態も解除されます。

① アラーム時刻を合わせる

①アラーム(アラーム合わせ) ボタンを押してすぐ離す
「アラーム1」が点灯し、アラーム時刻が点滅します。

※アラーム2を設定するときには、アラーム(アラーム合わせ)ボタンを2回押ししてください。

◆アラーム1,2ともONにしたときの表示例

アラームマーク
スヌーズ中、アラームマークは点滅します。
スヌーズマーク
スヌーズ中のみ点滅表示して、通常時やアラームが鳴っているときは消灯します。

※アラーム1は月日表示部、アラーム2は温度表示部にアラーム時刻が表示されます。
※AM、PMの表示位置にご注意ください。

② ▲(進む) または ▼(戻る) ボタンでアラーム時刻を合わせる

ボタン 押しすぐ離す 押し続ける
▲(進む) 1分進む 早送り
▼(戻る) 1分戻る 早戻し

※AM、PMの表示位置にご注意ください。

③約5秒間ボタン操作をしないと設定を終わる

② アラームのON/OFF設定

ONにするとアラームマークが点灯して、アラーム時刻が表示されます。

アラームスイッチ ON
OFF ●● ON

アラームスイッチ OFF
OFF ●● ON

アラームマーク

◎スヌーズ機能(止めてもまた鳴る)
アラームが鳴っているときに、スヌーズボタンを押すと、スヌーズマークとアラームマークが点滅してアラーム音が5分間停止してからまた鳴り出します。8回まで繰り返し使え、9回目にアラームが停止します。
※9回目にスヌーズマークが消灯します。

◎オートストップ機能(自動鳴り止め)
鳴っているアラームを放置すると約3分で止まります。

■アラームご使用上の注意
アラームスイッチがONのときは、毎日アラームが鳴ります。アラームを使用しないときは、アラームスイッチをOFFにしてください。

表示面の照明について

スヌーズボタンはライトボタンを兼ねています。ボタンを押すと約5秒間、液晶表示面を照明します。照明されているときは、時計正面やや上方より見てください。他の方向から見ると読みにくいことがあります。

温度表示について

センサーが時計内部にあるため、表示に反映するまでには時間がかかります。
測定範囲を超えた場合の表示
温度:「HH.H」50℃を超える高温 「LL.L」-9.9℃未満の低温
◎本製品は室内用ですので、室内の温度計測以外の目的では使用できません。また厳密な温度管理を行う用途には適していません。
※アラーム2のスイッチをONにしたときは、温度表示部にアラーム2の設定時刻が表示されます。

静電気の影響について

静電気の影響により正常に機能しなくなることがあります。このようなときにはリセットボタンを押してください。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。